

かのや たかくま  
鹿児島県 鹿屋市 高隈地区

たかくまへ

移住 (いじゅう)

I・J・U

いい (良い) 住

ターン

しませんか?

高隈が誇る  
「2大祭り」

かぎ引き祭り

300年以上続く祭りであり、毎年2月の第3日曜日に中津神社で五穀豊穡と林業発展を祈念して開催。市の無形文化財に指定されています。ご神木を雄木と雌木に見立て、引き合う勇壮な祭りであり、市内外から多くのひとが集まります。以前は「上高隈町」と「下高隈町」に分かれて引き合いましたが、人口比率が合わなくなったため、令和2年から、「高隈町内会」と「大黒町内会」で引き合うこととなりました。高隈の人々が一年で最も熱く燃え上がります。



大隅湖レイクサイドフェスティバル

高隈地区が誇る豊かな自然を市内外に周知し、地域の活性化と観光振興のため、平成2年にはじまった「あじさい祭り」から続く「大隅湖」での祭りです。地区の若手地域おこしグループが中心となり実施していましたが、会員減少に伴い、高隈地区コミュニティ協議会が高隈地区に誇る祭りとして継続し盛り上げられよう「2大祭り」と位置づけています。湖面に映える花火とレーザーの競演は必見です。



高隈へのアクセス



- 飛行機をご利用の方 鹿児島空港からバスで81分 / 車で60分
- フェリーをご利用の方 桜島港からバスで123分 / 車で70分
- 高速道路をご利用の方 ①野方I.C.から車で10分  
②細山田I.C.から車で11分

周辺の観光名所



お問い合わせ

高隈地区コミュニティ協議会 [鹿屋市 高隈地区交流促進センター内]  
 ☎ 0994-45-2525 (8:30~17:00 / 土日祝日除く)

ホームページ  
 わたしたちと高隈 | 高隈地区コミュニティ協議会  
<http://www.takakuma-komikyo.net/>



たかくま

高隈地区コミュニティ協議会



# たかくまマップ



# もくじ

- 1 高限音頭
- 2 たかくまマップ
- 3 高限暮らしをはじめませんか？
- 5 移住した先輩に聞いてみました。
- 7 「暮らし」  
緑豊かな「ほどよいイナカ」で、  
健康的なスローライフを
- 9 「子育て」  
恵まれた自然の中で  
のびのびと育む子供たち
- 11 「仕事・支援」  
鹿屋市の移住支援制度  
「かのやで暮らし」で検索!!
- 13 高限居住体験施設  
「ふれあい館」のご案内

一、ハーエー  
流れいそいそ 高限川に  
抱かれ榮える ふるさとよ サテ  
町を見おろす 御岳山(おんたけやま)も  
昇る朝日に エ〜〜 エびす類  
〜ほんにそりじやないか皆おいで チョイト  
ここは高限 よかところ

二、ハーエー  
桜吹雪の 花びら浮かべ  
塗絵になる 大湖(おおすみ湖)こ サテ  
秋にや紅葉が 色どりそえて  
めぐる季節の エ〜〜 水鏡  
〜くり返し

三、ハーエー  
笛や太鼓の かざりき祭り  
意気がぶつかる 血がたぎる サテ  
今年しや豊作 願いをかけりや  
合わす手と手に エ〜〜 夢が湧く  
〜くり返し

四、ハーエー  
みどり豊かな 畑かん台地  
笑顔こぼれる 笠之原 サテ  
心ひとつに いい汗流しや  
明日への繁盛の エ〜〜 歌も出る  
〜くり返し

## 高限音頭

昭和60年、高限地区の  
運営委員会が後世に残せ  
るものを作ろうと、当時  
婦人会長であった吉永淳  
子さんが中心になり作成  
されました。

住民の皆さんに「高限  
への想い」を詠んだ短歌  
を募集し、高限の自然や  
名所 歴史が綴られた歌  
詞が完成しました。

作曲も鹿屋の民謡歌手  
の方に作っていただき、  
みなさん「歌うだけでは  
もったいない」と踊りも  
作ることに。踊りをして  
いた吉永さんが、鹿児島  
の先生と高限の様子を表  
現した振り付けを完成さ  
れました。

昭和61年4月17日に高  
限地区の体育館の落成式  
と同時に披露され、運動  
会や祭り、地域行事など  
皆さんに愛され続けてい  
ます。



### 地域でささえあい

一人暮らしの高齢者など、支援の必要な方を地域で把握しサポートしています。



### 体育館でいい汗ながそう。

1名60円、貸し切りでも470円/時間で利用できます。バレーやバドミントンなど気軽にご利用ください。



### 自転車で高隈めぐり

四季折々の表情を魅せる高隈。自転車で名所をめぐって健康的な毎日。



### 料理教室で仲間づくり

地元高隈の素材を使った料理教室や健康づくり推進員さんとソバ作りなど楽しい講座や、研修会で仲間づくりをしています。



### 無料の多目的グラウンド

気持ちのいい芝生で、グラウンドゴルフなどの球技で、子供たちと一緒に体を動かしていませんか。



### ゴルフ場、あります。

雄大な高隈山地をバックに地元が誇るゴルフコース。地元企業の協力で、景品豊富な大会も開催しています。

# 高隈暮らしをはじめませんか？

私たち高隈地区の移住パンフレットを手にとっていただき、ありがとうございます。

高隈は鹿屋市の北部に位置し、標高1,237mの大笠柄(おおのがら)岳を主峰とする高隈山連山の麓にある人口約1,400人の農山村地区です。

上高隈地区は、主に水田地帯や山林が広がり、串良川の溪谷沿いに開けた高隈小校区で、下高隈地区は、国営第1号の畑地かんがい事業により整備された畑作地帯であり、笠野原台地に広がる大黒小校区です。

他の山村地域と同様、本地域も人口減少や高齢化の波が押し寄せてはいますが、あふれる緑、きれいな水、恵みの台地、脈々と続く歴史と、結の精神に育まれたあたたかい人々という「高隈の恵み」があります。

## 高隈の恵みを活かし、 人々が集う郷づくり

上記は、私たち「高隈地区コミュニティ協議会」が目指す「まちづくりの将来像」です。

高隈に住むみなさん、一人ひとりが「できること」を「できる範囲」で、人々が集う郷づくりに取り組んでいます。

豊かな自然に囲まれながらも、保育園・小中学校や、市の出張所や郵便局などの施設があり、買い物も、市の中心地までの車で10~20分程度で行くことができ、のんびり過ごすには良いところです。

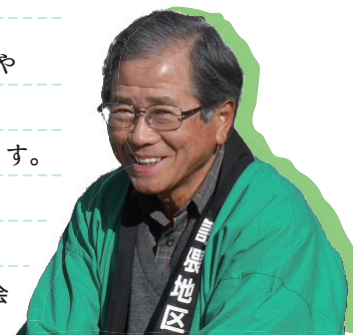
また、高速道路のインターチェンジも近く、鹿児島市や宮崎市などの都市へのアクセスも良い場所です。

高隈暮らしを体験できる「ふれあい館」も整備しています。

ここ「高隈」で程よい田舎生活を過ごしてみませんか。

皆さんのお越しをお待ちしております。

高隈地区コミュニティ協議会  
会長 浜田 保





## 大町 祐二さん

(年齢45歳／高隈在住13年)

### 01 高隈に住むきっかけ

27歳の時、妻の実家である高隈に移住して11年たった後、仕事の関係で三島村に住んでいましたが、43歳で高隈に帰ってきました。

### 02 移住してからの生活は

高隈は水も豊富で土も肥えているので、野菜が作りやすく、ゴーヤを出荷しています。また、地域の方の紹介で、牛にふれあう仕事もしています。義父のおかげで美味しい高隈米を頂いたり、家族で協力しあって作物を作る大切さを学んでいます。子供達にとってもいい経験が来ているのではないのでしょうか。また、三島村で学んだジャンベが、高隈でジャンベスクールとして広がっているので、子ども達もワクワクしています。

### 03 実際に住んでみた感想は

高隈の皆さんは人柄が温かく、心が落ち着く生活で、住みやすいと感じます。子ども達も自然の中で、のびのび生活しています。地域のみんがアットホームで、保育園から小中学校まで近くにあり、子育てもしやすいところだと思います。

### 04 移住を考えている方へのひとこと

自然に恵まれ、水も美味しく温泉（鉱泉）もあり、自給自足も可能です。人よりも、サルやイノシシのほうがよく見かけるので、ハンターになると、肉まで手に入れることができます(笑)。

### 05 高隈のおすすめ

きれいな水と美味しいお米、笑顔豊かな温かい人たちです。

#### ACTIVITIES

たかくま石蔵館での「たかくまジャンベスクール」の様子。左端で娘さんの面倒を見ているのが大町さん。ジャンベの前に立つ3人の男の子達は、大町さんの息子さん達です。ジャンベスクールのリーダー的存在です。



高隈に

先輩に聞いてみました。

I・J・Uターンした

## 白濱 脩さん

(年齢78歳／高隈在住28年)

### 01 高隈に住むきっかけ

高校卒業後に都会に働きに出て、当時は定年退職を機に高隈にUターンする予定でしたが、会社に68歳まで勤めることとなり、8年遅れて帰ってきました。



### 02 移住してからの生活は

妻と一緒に、市の交流センターでグラウンドゴルフや高隈史談会（歴史の同好会）に参加し地域の皆さんと楽しく過ごしています。また、自宅を活用した農家民宿を妻と営んでおり、都会の修学旅行生やお客さんと、自宅のピザ窯でピザを焼いたり、高隈の山菜や自宅の菜園で作った野菜と一緒に料理を作ったり楽しんでいます。グリーンツーリズムを通じて、高隈の良さを、他の地域の皆様に伝えられればと思っています。

### 03 実際に住んでみた感想は

50年以上ふるさとと離れていたので、当初は地域や環境の違いに戸惑いましたが、交流センターの職員の方がカラオケや水墨画、高隈史談会など色々なサークル活動を紹介してくださり、地域の皆さんと気軽に話し合える関係が作れたと思っています。



修学旅行生と鹿屋名物カンパチのしゃぶしゃぶを食べる白濱さん（写真右上）

### 04 移住を考えている方へのひとこと

田舎の方は「グイグイ」話しかけてくる印象があるかもしれませんが、高隈の方たちは「あっさり」しているような気がします。今はコミュニティ協議会もあるので、気軽に地域のいろんな話も聞けると思っています。地域の皆さんは優しい方ばかりです。

### 05 高隈のおすすめ

谷田の滝や観音淵など自然も豊かで、カビックセンターや民族館など他にない施設もある恵まれたところだと思います。冬の早朝に自宅からみられる朝霧も素敵です。サイクリングやジョギングなど、四季を楽しむのに良いところです。



#### ACTIVITIES

修学旅行生が農泊を終えてお見送りをしている様子（写真右端）

## 恵まれた施設に囲まれて

石蔵のレンタサイクルで自然めぐりや、カピックセンター・民族館での異文化体験、グリーンカントリー高隈でのキャンプ、交流センター体育館でのバレーやフットサルなどの屋内スポーツ、三角公園での花見など、安価で楽しめる様々な施設があります。



鹿兒島県アジア太平洋農村研修センター  
(カピックセンター)



鹿屋市民族館



たかくま石蔵館とレンタサイクル



高隈地区交流促進センター



交流センター体育館



グリーンカントリー高隈



三角公園

## 買いものバスは憩いの時間

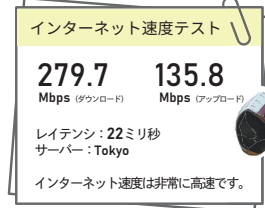
高齢者の買い物支援

通称「ドライブサロン」。路線バスの無い高隈北部地区では、福祉施設の協力で週に1回、市街地へ買い物バスが運行されています。交通手段を持たない高齢者等の方たちの買い物支援と閉じこもり防止や安否確認など、皆と話す「憩いの場」です。



## 光回線あります。Wi-Fiあります。

平成31年4月に光回線が整備され、高隈地区でも光回線が利用可能となっています。右は、高隈地区コミュニティ協議会事務局（高隈地区交流促進センター内）のGoogle速度テスト結果です。



健康的な

スローライフ

を

緑豊かな

「ほどよいイナカ」

で、

## 身近にある、雄大で美しい自然。

高隈山系、高隈渓谷、田園、川、笠野原台地。一步足を踏み入れれば、四季折々を彩る豊かな自然がすぐそばに。優しい新緑から、迫力ある渓谷の甌穴群、洞窟から溢れる湧水まで、これだけの自然を身近で触られることは、高隈以外では味わえない贅沢かもしれません。



上別府 (うえんびゅう) の棚田



谷田の滝



笠野原台地のひまわり畑



観音淵の洞窟



大隅湖の桜



観音淵の湧水

## 街まで車で15分

衣料や飲食の全国チェーン店がある市街地まで、車で15分程度で行くことができます。高速道路のインターチェンジも近くにあり、鹿兒島市などの都市圏へのアクセスも容易です。





## 高隈こども園

昭和35年に開園。  
保育方針は、「豊かな自然環境の中で、  
いろいろな体験を通して自然と広く親し  
み、元気で思いやりのある子どもを育て  
る」。  
■定員50名（認定こども園）

## 大黒保育園

昭和60年に開園。  
保育方針は「園児の成長段階  
を踏まえ、様々な保育に取り  
組み、そしてまた、自然に  
触れ、自由にのびのびと遊ば  
せる事を大切に、子ども一人  
ひとりの思いを受容し、安心感と  
信頼感をもって活動できるよう積極的に係る」。市街地区に分園を設置。  
■定員 本園77名（認定こども園）



## 寺子屋

小学生を対象に、鷲峰館や小学校で、放課後に月1日から週1日、元教員  
経験者や自治会長・民生委員の見守るなかで、自学自習の習慣を身につけ  
るための場です。また、郷土愛を育むための地域活動等も実施しています。



高隈小学校区の寺子屋



大黒小学校区の寺子屋



郷土の史跡学習



地域や高齢者との盆がま行事

のびのびと育む子供たち  
恵まれた自然の中で

## 高隈中学校

校訓「自主」「秩序」「協力」  
「勤労」「責任」「努力」  
昭和22年に創立。  
創立時は高隈小学校の講堂で  
5学級で授業開始。旧高隈村全域  
が校区。鹿屋市小規模校入学特別  
認可制度（以下「特認校制度」）を  
導入。



## 大黒小学校

校訓「かしこく やさしく つよく」  
明治11年に創設。  
名称の大黒は、集落の大堀、黒坂か  
ら取ったもので、特認校制度を導入。



## 高隈小学校

校訓「つよく かしこく 心豊かに」  
前身は江戸時代の私塾「素讓館」。  
明治9年に高隈小学校と改称。  
特認校制度を導入。



## 地域の学校、有志で奉仕。

体験学習等や学校の奉仕作業も地域に呼びかけ、高隈地区コミュニティ協  
議会の部会員や地域有志の皆さんで、できる範囲でお手伝いしています。  
コミュニティの拠点である学校を、高隈一体となって支援しています。



お田植え行事（土曜授業）



地域で学校の奉仕作業

## 01 空き家等バンク補助金

下の①/②は鹿屋市の空き家等バンクに登録された物件が対象です。現在、高隈地区は空き家バンク登録に向けて物件を調査中です。

### ① 改修補助

対象経費の2分の1以内で  
上限50万円（自らが改修  
を行う場合は30万円）

### ② 引っ越し補助

対象経費の2分の1以内で  
上限5万円

## 02 住宅改修応援補助金制度

移住後6カ月以内に中古住宅を取得し増改築を行う定住世帯に対し、費用の一部（補助率30%・上限額30万円）を助成する制度です。  
※実績報告書の提出までに居住し、住民基本台帳に登録する必要があります。

## 03 移住体験活動

移住希望者が、鹿屋市での移住生活や就業を体験するツアーです。ツアーは一人から参加でき、プランは本市の定住相談員と相談しながらオーダーメイドで作成します。参加を希望される方は、下記の「かのや移住サポートセンター」まで、ご相談ください。



＼わたしたちが皆さまをサポートいたします／

### 鹿屋市の移住専用SNS

facebook



YouTube



twitter



Instagram



移住のことなら「かのや移住サポートセンター」へ  
鹿屋市への移住をお考えの方に、ワンストップで相談支援を行っています。

☎ 0994-45-6930 (直通)

## 01 新規就農者就農支援事業

18歳以上50歳未満で、研修終了後直ちに5年以上農業に従事することができる方を対象に、以下の就農支援をおこなっています。

- ・農業研修資金（単身者） ▶▶ 年間180万円
- ・農業研修資金（夫婦） ▶▶ 年間240万円
- ・就農開始資金 ▶▶ 就農開始時に1回のみ50万円

## 02 かのや農援隊無料職業紹介所

農業に関心のある市内外の方と人手不足に悩む市内農家さんとマッチングを支援する、職業安定法に基づく無料職業紹介所です。農家の求人情報（アルバイト含む）を公開し、農家の力になりたい求職者とのマッチング（雇用契約を締結）を支援します。高隈で水稲やごぼう、さつまいも等の生産販売や農業資材の販売も手掛ける「ハマダ商事株式会社」さんも、同紹介所で求人募集中です。



ハマダ商事  
有限会社



◀ドローンでの農業散布などスマート農業にも積極的に取り組んでいます。

▼ハマダ商事事務所

## 03 移住就業支援金制度（最大100万円）

東京23区の在住者または通勤者が、本市に移住し、鹿児島県ホームページ内に掲載された対象企業の求人に就業した場合、申請に基づき移住支援金が交付される制度です。また、起業支援事業の交付決定を受けた方も移住支援金の対象となります。

高隈で、複数の契約農家や自社が育てた野菜を「乾燥野菜」として製品化し、生産・加工・流通・販売を手掛ける「株式会社オキス」さんは、移住支援金の就業対象先の法人です。



株式会社  
オキス

薩摩の恵



▲殺菌パウダー工場

自社農園栽培のごぼうで製造される「ごぼう茶」は人気商品のひとつ。



「かのやで暮らす」で検索!!

鹿屋市の移住支援制度

自然豊かな高隈暮らしを体験してみませんか？

高隈居住  
体験施設

「ふれあい館」のご案内 *{ Welcome }*



IHコンロや冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ等完備しています

### 1 利用ができる方

- ① 高隈住まいを体験してみたい方
- ② 高隈や鹿屋市へ移住を希望する鹿屋市外在住の方
- ③ 高隈や鹿屋市で起業や活動拠点設置を希望する方
- ④ 高隈の地域活動に参加したい方

### 2 利用者が用意するもの

- ① 寝具（布団・寝袋等）・洗面用品（タオル、歯ブラシ等）
- ② 食料品（飲食店まで徒歩5分・コンビニまで車で10分）

### 3 利用料金

利用日数	料金
1泊2日	1,500円
2～14泊	1泊1,500円
15～30泊（上限）	1泊1,000円

※何人利用でも料金は変わりません  
 ※定員は4名程度です  
 ※「たかくまふれあい館」の和室とDK部分が居住体験施設です

### 4 設備・備品

- ① 家電（テレビ・冷蔵庫・洗濯機・IHコンロ・電子レンジ・電気ポット・炊飯器）
- ② 風呂・入浴用品（シャンプー・ボディソープ等）・トイレ  
 ※冷暖房完備・男女トイレ別（ウォシュレット付）

### 5 申込方法

利用を希望する **1ヶ月前**からお申込みできます。空き状況はお電話（0994-45-2525・土日祝日を除く）でお問合せください。

和室  
waku



南向きで明るく高隈山も望めます

お風呂  
bath



追い炊き機能付きです

トイレ  
toilet



男性用と女性用、多目的用があり、混み合うことなく快適に利用できます

#### お問い合わせ・書類送付先

高隈地区コミュニティ協議会

〒893-0131 鹿児島県鹿屋市上高隈町262-1

（高隈地区交流促進センター内）

TEL 0994-45-2525 / FAX 0994-31-2111

E-mail takakuma@po5.synapse.ne.jp

HP <http://www.takakuma-komikyo.net>